

⑦ 賦課期日

知っているようで知らない  
税のあれこれ

問 税務課 ☎43-2294 FAX 44-9411



「今年の2月に土地を売ったのに、固定資産税がかかってしまった。どうしてなんですか?」  
確かに、売ったはずの土地に税金がかかってしまったなんて、びっくりしますよね。  
これには、賦課期日というものが関係します。

**賦課期日**とは  
その日現在で1年度分の納税義務者などの課税要件を確定する日のことです。

課税期間の途中で所有者などの変更があった場合にその都度、納税義務者や課税標準額などを変更すると課税事務が複雑になり、徴税コストが上昇するため、こうした方式が設けられ、税によってその期日は異なります。

固定資産税



1月1日現在の土地・建物・償却資産の所有者

市民税



1月1日現在で下妻市に住民票があった方  
1月1日現在の状況。  
(障害者、未成年者、寡婦など)

軽自動車税



4月1日現在の軽自動車やバイクの所有者



それぞれの税について賦課期日が決められていて、賦課期日現在の状況で納税義務者や課税の判定をします。2月に土地を売った場合、今年度の納税義務者は1月1日現在の土地の所有者になるので、前の所有者に固定資産税がかかるということになります。  
軽自動車税についても、例えば4月2日に軽自動車を売った場合は、賦課期日が4月1日ですので、前の所有者に課税されるというわけです。

今回の「教えて!シモンちゃん」は、「固定資産税」についてお話ししたいと思います。

表敬訪問 全国大会へ出場する市内中学生が大会出場の報告に訪れました

第44回 全日本選手権ポニー大会



将門ベースボールクラブ  
なかがわりゅうか  
中川 琉楓さん(下妻中学校3年:写真右)  
「全国大会で一勝でも多く勝ちたい」  
えひはら りょう  
海老原 峻さん(千代川中学校3年:写真中央)  
「チームに貢献して勝利をおさめたい」  
かわすみ しょうや  
川澄 翔也さん(下妻中学校3年:写真左)  
「優勝狙って頑張ります」

アルインコカップ争奪 第26回 ヤングリーグ選手権大会 中学部



つくばヤングベースボールクラブ  
しまだ としのり  
島田 稔規さん(下妻中学校3年:写真右)  
「目標だった全国大会なので笑って終われるように頑張りたい」  
かりべ たいき  
刈部 太葵さん(千代川中学校3年:写真左)  
「練習の成果を発揮して団結して勝ちたい」

第39回全国中学生選抜将棋選手権大会



やすだ かえで  
安田 楓さん(下妻中学校1年生)  
第39回全国中学生選抜将棋選手権茨城県大会女子部 優勝  
「自分より強い相手と対局するのが楽しみです。大会に向けてしっかりと準備します」

「下妻甘熟梨プロジェクト」設立  
生産者・イオン・JA・県・市が販売促進の協定締結

7月30日、JA常総ひかり下妻支店(下妻丙)で「下妻甘熟梨」の生産拡大や販売促進などを旨とし、市は市果樹組合連合会、JA常総ひかり、イオンリテール、茨城県の5者と新たな取り組みとして「下妻甘熟梨」のブランド化を目的とする「下妻甘熟梨プロジェクト」を設立しました。

「下妻甘熟梨」は市内梨生産者の若手が生産者担い手の高齢化、後継者不足、市場価格の低迷などの課題解決に向け「何かをしなれば」と「下妻の梨PRプロジェクト」を立ち上げ「梨の本来のおいしさを伝えたい」との思いから誕生させた梨(幸水)。限られた生産者が厳しいルールのもと作り上げています。

甘熟梨プロジェクトは、流通大手のイオンが進めている郷土の味や優れた文化の継承を目指す「フードアルテザン(食の匠)」活動の一環として行われ、県内では大子町の「常陸大黒(花豆)」笠間市の「貯蔵栗」に続く3例目。甘熟梨は8月11日～17日にイオン下妻など同店の県内4店舗で販売する予定です。

市果樹組合連合会の栗野陽一会長は「若い生産者たちに今までにない、やりがいのある仕事となる」と期待を寄せ、イオンリテールの七尾宣靖常務執行役員は「まちの活性化に少しでもお役に立てれば」と話しました。



プロジェクトの締結をした代表者

市保健師が被災者の健康相談や指導  
広島県竹原市での災害支援活動を報告

西日本を中心に台風7号や梅雨前線などの影響で発生した集中豪雨「平成30年7月豪雨」の被災地支援で派遣された市保健センターの保健師・小林静江係長が17日、菊池市長へ活動を報告しました。

派遣場所は広島県竹原市で、7月11日～16日の6日間(実働4日間)、茨城県保健師派遣チームの第1班として、県と他市町村保健師と事務職の4人編成で、災害保健活動を行いました。内容は、要介護3～5の方や障害のある方の家庭訪問を行い、血圧・体温測定や、困りごとの聞き取りのほか、避難所を巡回して健康相談や感染症予防の指導に当たりました。

茨城県災害時保健活動マニュアル作成に市町村代表として携わった経験から、小林係長は「災害時の保健活動では、起こりうる災害状況に素早く対応するために、現場状況ごとの保健活動を把握し、災害発生時の応援・受援体制まで含めて検討、平時からの準備が重要としている。実際に被災地で災害対応を経験し、刻々と状況が変わる中で、常に情報収集しながら、適切で効果的な支

援活動ができるよう、関係職員が一丸となって活動する大切さを実感した。また、市民の安全を確認しながら、健康管理や保健予防活動をしていく大切さを痛感し、今後の保健活動に活かしていきたい」と話しました。



市長に活動報告をする小林係長(左)

有料広告欄